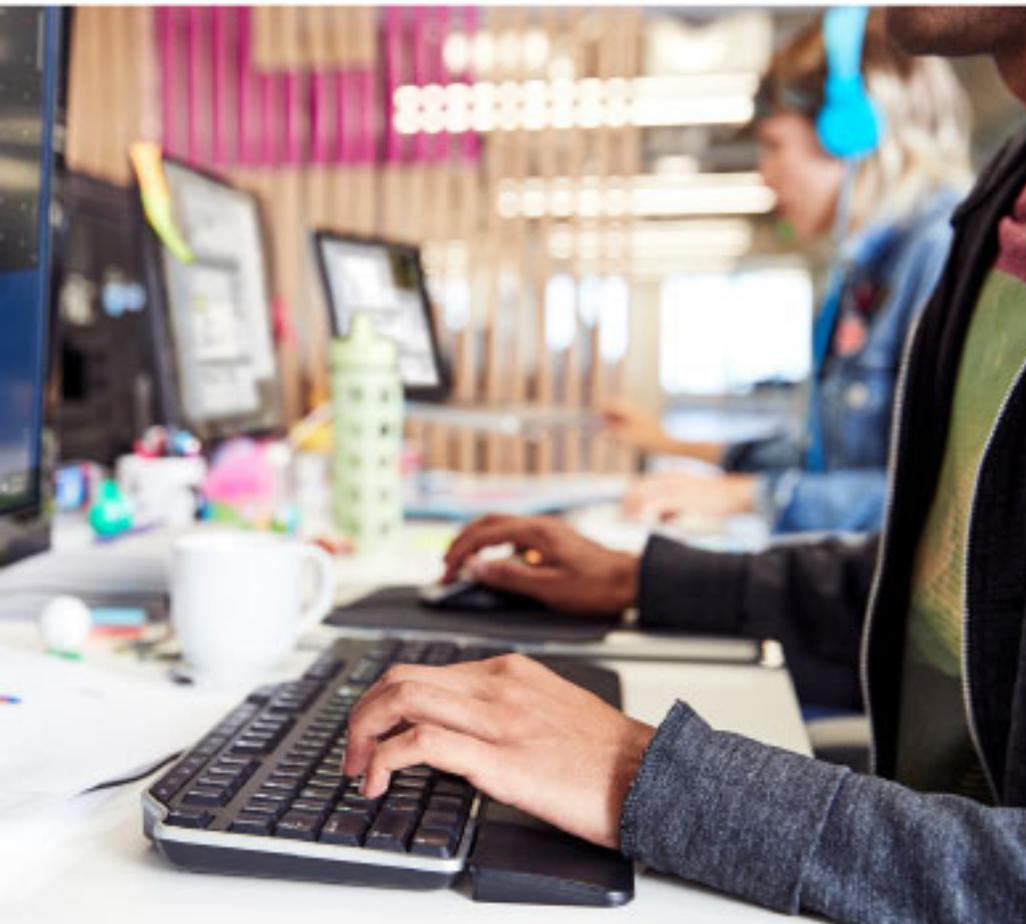


# マネージドITサービスプロバイダが、ハイブリッドなバックアップ/リカバリ構成によりランサムウェアを撃退

Ignite Business Communicationsは、オンプレミスとデータセンターでRapid Recoveryを実行し、災害やランサムウェア攻撃の発生から4時間以内にクライアントが事業を再開できるようにしています。



「私にしてみれば、企業が今実行しているべきことは、従来のバックアップではありません。実行しているべきは、間違いなく事業継続とディザスタリカバリです。」

Ignite Business Communications、コマーシャルディレクター、Andy Portlock氏

# Quest™

お客様のプロフィール

**ignite**  
BUSINESS COMMUNICATIONS

会社名	Ignite Business Communications
業種	情報技術、マネージドITサービス
国	英国
従業員数	125
Webサイト	<a href="http://ignite.co.uk">ignite.co.uk</a>

## ビジネスニーズ

Ignitelは、中小規模ビジネス (SMB) に対し、事業継続性を確保するために堅牢なディザスタリカバリを開発しました。この必要があることに気が付きました。

## ソリューション

Ignitelはディザスタリカバリ (DR) とデータバックアップの基盤としてRapid Recoveryを利用し、Cloud Backup and Recoveryサービスを開発しました。このサービスでは、クライアントのデータをオンプレミスのサーバに複製した後、データセンターにも複製します。この構成により、ランサムウェア攻撃を受けた後でもリカバリ時間が大幅に削減されました。

## メリット

- ・ 中小規模ビジネスにおけるデータの回復と迅速な事業継続を実現
- ・ リカバリ時間を日単位から2~4時間へと大幅に短縮
- ・ データ・バックアップ・ソリューションを提供し、ファイルやフォルダにはじまりサーバ全体にいたるまですべてを回復

## ソリューションの概要

- ・ データ保護

マネージドITサービスプロバイダであるIgnite Business Communicationsは、企業に対してオフィスが全焼するかもしれない日のことを想定するように伝え、日々データのバックアップとディザスタリカバリを構築しています。

「自社の事業継続計画をいまだにテープドライブに頼っている中小規模ビジネスがあまりにも多すぎます」と、IgniteのコマーシャルディレクターであるAndy Portlock氏は話します。「そういった企業にはこう言っています。『月曜日の朝出勤して事務所が全焼していた場合のことを想像してみてください。手元のカバンやブリーフケースには、金曜日に家に持ち帰ったテープが入っていますが、果たしてそれが役に立つでしょうか？重要なデータをすべて回復できるでしょうか？』と。」

Portlock氏は、ひたすら幸運を祈り、テストはほとんど行わず、あまりにも人の手を介入させた結果、失敗ばかりになるという問題が広まっていることを指摘します。しかし、それは単なる技術的な問題にすぎません。そこで、次は事業に与える影響について考えるよう促します。

Portlock氏はこう続けます。「仮にテープのバックアップを利用できたとして、リカバリポイントはどこでしょう？何日分の業務が失われましたか？2日分、それとも3日分でしょうか。テープの品質のせいで、1週間遡らざるを得ないとしたら？そのうえ、バックアップから復元してサーバを再び稼働させるまでのリカバリ時間に、さらに3～5日かかるとしたらどうでしょう？」

### 事業継続を賄えるディザスタリカバリ

Igniteは、削除されたファイルやフォルダの回復にはテープによるバックアップでも事足りるかもしれないことは理解していましたが、いざ災害に見舞われた場合、その処理はクライアントにとって間違いがあまりにも起こりやすく、テープを使って作業するには時間がかかりすぎました。そこで、Portlock氏とパートナーたちは独自のディザスタリカバリ製品の設計に取り掛かります。

Portlock氏たちは、大半の中小規模ビジネスがディザスタリカバリを敬遠することに気が付きました。ディザスタリカバリは費用がかかり、大規模組織にしか適さないとされていたのです。そこでIgniteは市場調査を行い、事業継続計画に加えられだけの低価格のディザスタリカバリを探しました。クライアントに対し、災害が起きた場合の目標リカバリポイント（RPO）、目標リカ

バリ時間（RTO）、そして厳密なサービス・レベル・アグリーメント（SLA）を示そうとしたのです。Quest®の長年のチャンネルパートナーである同社は、Rapid Recoveryで業務を迅速に復旧させられるかどうかを評価することにしました。

「QuestのRapid Recoveryを軸に、Ignite Cloud Backup and Recoveryサービスを構築しました」とPortlock氏は話します。「ユーザ数が30～100人の小規模なクライアントに対応できるうえ、100～500人の中規模なクライアント向けにも簡単に拡張することができます。この拡張性は非常に魅力的でした。対象となる契約クライアントは現在600社を超えますが、その販路全体に対して1つの製品でディザスタリカバリを提供することができるからです。しかもRapid Recoveryのおかげで、クライアントのニーズに合わせてリカバリ時間を柔軟に調整することもできます。」

### 迅速なリカバリとクラウドバックアップ

QuestのRapid Recoveryで構成されているIgnite Cloud Backup and Recoveryサービスは、クライアントのデータをオンプレミスのサーバに複製します。また厳密なディザスタリカバリ対策として、常にコピーが別に存在するよう、ローカルサーバから複数のデータセンターにも複製します。

管理対象のサービスとして、Igniteはファイルやフォルダをバックアップから回復してほしいという簡単なリクエストをほぼ毎日のように受けますが、そういったリクエストは業務に影響を与えるものではないため、オンプレミスのサーバから直ちに対応しています。サーバのダウンやディスクの破損といったことまで、クライアントはたいてい常に問題を抱えています。同社のサービスではRapid Recoveryを使用してファイル、フォルダ、さらにはシステム全体をオンプレミスのサーバから復元します。

### 製品とサービス

ソフトウェア

Rapid Recovery.

「Rapid Recoveryのおかげで、クライアントのニーズに合わせてリカバリ時間を柔軟に調整することができます。」

Ignite Business Communications,  
コマーシャルディレクター、  
Andy Portlock氏

「復元は迅速で、ほぼシームレスです」と Portlock氏は言います。「小さな復元作業の場合、10回のうち9回以上は、データセンターへアクセスせずにローカルサーバを使用します。」

同社では、DR Suiteの提供機能により、IT ディザスタ・リカバリ・ソリューションと事業継続の組み合わせをさらに一步進めた対応をしています。クライアントが災害に見舞われ事務所を利用できない場合に備えて、同社の各支社にコンピュータと電話を備えた空き事務所を1つ設けているのです。同社では、被災の連絡を受けてから4時間未満で、Rapid Recoveryを使用してデータセンターのバックアップからクライアントのシステムを復元することができます。空き事務所にはDR Suiteを利用しているクライアントの従業員を最大10人まで収容できるため、引き続き業務を行うことができます。

「Rapid Recoveryのおかげで、クライアントのニーズに合わせてリカバリ時間を柔軟に調整することができます。」

Ignite Business Communications,  
コマーシャルディレクター、  
Andy Portlock氏

### ランサムウェア攻撃を撃退

あるクライアントは、Rapid Recoveryと Ignite Cloud Backup and Recoveryサービスのおかげで、CryptoLocker攻撃の被害を受けずに済みました。金曜日の遅い時間、このクライアントはランサムウェアによって自社のシステムがすべてあっという間にロックダウンされてしまったことに気づきました。しかもIgniteが確認したところ、オンサイトのスナップショットとバックアップも感染していたのです。

「クライアントが保管していたのがオンプレミスのバックアップだけだったとしたら、深刻な問題になっていたでしょう。コアアプリケーションにもビジネスデータにもローカルバックアップにも一切アクセスできないのですから」とPortlock氏は言います。「幸い、CryptoLocker攻撃は当社のデータセンターにまで広がることはありませんでした。当社のサービスによりデータを複数回複製していたことから、データセンターにあるデータから仮想マシンを立ち上げ、その週末にはクライアントは業務に戻ることができました。」

Igniteは、管理対象のサービスの一環として年に一度ディザスタリカバリ訓練を行うほど、ディザスタリカバリのテストを重要視しています。ファイルを見過ごしていたり、忘れられているフォルダや保護されていないマシンがあったりするなど、常に異常はあるため、その異常を注意深く調べて対処するにはテストが最善の方法であることをPortlock氏は理解しています。

「私にしてみれば、企業が今実行しているべきことは、従来のバックアップではありません」と彼は言います。「実行しているべきは、間違いなく事業継続とディザスタリカバリです。ランサムウェアは新しい常識の一部となっているため、企業もそれに応じて考える必要があります。」

### チャネルパートナーに対する強力なサポート

マネージドITサービスプロバイダとして、Igniteは信頼できるテクノロジーパートナーを必要としています。同社のバックアップ/リカバリソリューションはIgniteの名前を冠しています。そこではQuestの信頼性が重要になってきます。クライアントから基盤となる技術について尋ねられるためです。Portlock氏は、QuestがIgniteのようなチャネルパートナーを非常に重視していることを喜んでいます。

「私にとって、それは極めて重要なことです」と彼は言います。「Questは提供する製品について市場で信頼を得なければなりませんし、実際に信頼を得ています。パートナーシップ関係にある当社と、製品のアップデートやロードマップを共有してくれるうえ、当社の技術チームと販売チームの研修にも多くの時間と費用をかけてくれます。きっと、自社のソリューションや製品を販売するパートナーなら効率的な販売に必要なことを網羅すべきと考えているでしょう。そのおかげで、クライアントに対してQuestの重要性をはっきりと伝えやすくなっています。」

### QUESTについて

Questは、単調な管理タスクを減らし、ビジネスの成長に必要なイノベーションに集中できるよう、お客様をサポートします。スケーラブルかつ低コストで使いやすいQuest®のソリューションにより、効率性と生産性を最大限に高めることができます。Questは、グローバルコミュニティの一員としてイノベーションに取り組むための環境をお客様に提供すると共に、お客様の満足を追求しています。今後も、Azureクラウド管理、SaaS、セキュリティ、労働力の流動化、データドリブンインサイトのための包括的なソリューションの提供を加速化してまいります。

## その他の導入事例: [Quest.com/Customer-Stories](https://quest.com/Customer-Stories)

Quest、およびQuestロゴは、Quest Software Inc.の商標または登録商標です。Questの商標の一覧については、[www.quest.com/legal/trademark-information.aspx](https://www.quest.com/legal/trademark-information.aspx)をご覧ください。その他すべての商標は各所有者に帰属します。